

令和4年4月3日

## 第89回談話会 報告

談話会世話人 津下 和永

3月24日にWeb会議方式で標記談話会を参加者14名で開催しました。

### 【内容】

話 題：定年退職後の北陸での第二の人生

～越前市での農業・地域活動・観光ガイド～

講演者：奥山 悦男 様

定年退職後に福井県内の実家に引越され、お父様が所属されていた農事組合法人組合員を受け継ぎ、60歳代の10年間は1年365日無休状態で農業中心の生活、70歳以後は農業の第一線を離れ、公民館館長をはじめ越前市・町内・地区での多数の役職を引き受け、地域を盛り上げる活動を精力的に展開されています。

その中で経験された農業や地域の課題と取り組まれた対策、加えて越前市の観光ボランティアガイドについてご説明戴きました。

終了後、オンライン懇親会を開催しました。

### 【世話人記】

素晴らしい活動だと感心された方が多く、皆様からたくさん感想を戴きましたので、一部ご紹介します。

- ・奥山さんが生まれ故郷ではないにもかかわらず、しつかり越前市の大虫に根をおろし、農業経営という大変な仕事にチャレンジされ、工夫して地域貢献活動をされている第二の人生に感銘を受けました。
- ・おかげさまで楽しい半日を過ごすことができました。同時に奥山さんの多彩な活動に驚きもしました。質問の時間が限られていたのが少し残念でした。お米のいちほまれが冷えても美味しのは何故か知りたい。
- ・在職中から色々な活動に参加され、それが退職後に生かされており、スムーズで連続した充実人生だと思いました。
- ・お話、引き込まれました。あそこまで広範囲のことを地道に深く続けられるものかと驚きました。それぞれで余人に代えがたい人になってられ大変なことだと思いますが、体力的には限界がありますので、整理して末永い今後のご活躍を期待しています。
- ・日本の米作りの将来について改めてその難しさを学ぶことができました。
- ・武生の農業組合は全国でも先進的と評判が高いので、兼ねてより注目しておりました。その中核に奥山さんがおられるのを知った時は、心底感動でした。農業を卒業されての地域活動もさすがと感心しました。

以上